

令和4年度4回座間市社会教育委員会会議録

| | | | |
|--|---|------|----|
| 会議の名称 | 令和4年度第4回座間市社会教育委員会会議 | | |
| 開催日時 | 令和4年11月16日(水) | | |
| 開催場所 | 座間市役所 3階 3-1会議室 | | |
| 出席者 | 大串議長、小池副議長、峰尾委員、乾委員、赤羽委員、宮代委員、浦委員 | | |
| 事務局 | 安部スポーツ課長、市嶋青少年課長、飯田図書館長 吉野生涯学習課長、淀川副主幹兼生涯学習係長、河野生涯学習係主事 | | |
| 会議の公開可否 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 | 傍聴者数 | 0人 |
| 非公開又は一部公開とした理由 | | | |
| 議題 | 1. 経過報告と今後の事業について 2. 令和4年度社会教育委員連絡会議(県央教育事務所)(報告) 3. 研究テーマについて | | |
| 資料の名称 | 資料1. 第4回座間市社会教育委員会会議経過報告 資料2. 月間行事予定表 資料3. 令和4年度社会教育委員連絡会議 資料4. 令和4年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会 【愛川町会場】開催要項 資料5. 令和4年度知ることからはじめる人権啓発研修講座 開催要項 | | |
| 会議の結果 | | | |
| 1. 研究テーマは、高齢者の生涯学習活動を大きなテーマとして掲げる。 その中で居場所や活動場所等の詳細を研究する 2. 小池副議長から、市民活動サポートセンターに登録している団体の、活動内容や団体構成などをまとめた資料をいただき、それを各委員にメールで送付。 次回の会議までに各委員研究内容を検討。 | | | |

議事の概要

(1) 経過報告と今後の事業について 資料1、2

生涯学習課長：資料1、2について説明。

小池副議長：コロナの関係で制限をしている事業はあるか。

生涯学習係長：講座の申込みは基本的に事前申込みである。そのため、連絡先の把握や、定員を事前に調整するなどしている。

生涯学習課長：展示会は、入場時に手指消毒などしているが、人数制限はしていない。

小池副議長：青少年育成大会は、社教委の出席は不要か。

青少年課長：新型コロナウイルス感染症の関係で、議長のみ案内を送付している。人数制限をしているため。

宮代委員：成人式の制限はどうか

青少年課長：感染対策のため午前と午後の二部制で実施予定。

乾委員：11月24日（木）北地区文化センターで実施予定の「みんなで音読、楽しく筋トレ」は、どのような内容か。

生涯学習課長：音読を筋トレに繋げる姿勢で行い、楽しく筋トレをするという内容。

大串議長：1月13日（金）高座海軍工廠写真展はどこで開催するのか。

生涯学習課長：ハーモニーホール座間で開催する。

～スポーツ課長、青少年課長、図書館長退席～

(2) 令和4年度社会教育委員連絡会議（県央教育事務所）（報告）資料3

乾委員：資料3のとおり講演会の後、各地域に分かれてグループ協議を行った。講演会の講師の活動が素晴らしく、グループ協議内で話題となった。講師のような人が地域で活動しているときは良いが、高齢になると活発な活動できなくなることや、その人の後に、活動に対して強い気持ちを持つ人が出てこなければ、活動も縮小してしまうことが課題であるという意見があった。解決策は出ずに終了したが、興味深い協議をすることができた。

生涯学習係長：学校運営協議会と地域学校協働活動の話が毎度混在する。聞き手としては理解しづらいと感じる。社会教育委員が直接関わるのは地域学校協働活動だと思うが、話し手が両方に関わっている場合が多く、理解しづらい点が多い。県内市町村でも、地域学校協働活動本部が整備されている自治体は多くなく、手探りの状態の自治体も多い。当市でも1～2年で試行実施をするなどして、検討していかなければならない。地域学校協働活動に特化した研修会が開催されることを期待する。

(3) 研究テーマについて

小池 副 議 長：外で活動している高齢者がどのような活動をしているか、ということは市民活動サポートセンターで調べ、資料を提供することが可能。また、高齢者の方々と直接会話ができるように調整することも可能である。前回の研究テーマが子どもの居場所としたため、今回は高齢者に注目するのはどうか。高齢者が多く在籍する会や団体に若い方が入会しないことが課題であり、会や団体の存続が危ういという声をよく聞く。

生涯学習係長：公民館の貸館利用申込みなどでも、全てデジタル化するようにという意見もあるが、利用者がそれに対応できない恐れが大いにある。

大 串 議 長：機械の使用が難しく、結局、慣れているアナログな方法に戻ってしまう。

峰 尾 委 員：身近にも、スマートフォンを使いこなせず、困っている方がいる。若い人が一緒に住んでいない場合、難しいことや、不便なことが多いのではないかと感じる。

小池 副 議 長：それであれば、高齢者の居場所や活動場所を研究するのはどうか。

大 串 議 長：高齢者の生涯学習活動を大きなテーマとして掲げ、その中で居場所や活動場所等の詳細を研究していくのはどうか。

→一同賛成

小池 副 議 長：次回の会議までに、市民活動サポートセンターに登録している団体の、活動内容や団体構成などをまとめた資料を用意する。

生涯学習係長：小池副議長から資料をいただき、各委員にメールで送付する。次回の会議までに各委員研究内容を検討するようにお願いしたい。

その他

- ・令和4年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会（愛川町会場）について（資料4）

生涯学習係長：大串議長、浦委員が出席する。

- ・知ることからはじめる人権啓発研修講座について（資料5）

生涯学習係長：赤羽委員、宮代委員が出席する。

- ・生涯学習プラン（令和5年～12年度）（素案）について

生涯学習係長：意見をいただきたいためメールを送付している。11月20日（日）までにメールで御意見等いただければと思う。

【次回会議 令和5年1月18日（水）10時～ 市役所 3-1会議室】